

## SPring-8 利用者懇談会

### X線マイクロ・ナノトモグラフィー研究会 第3回研究会報告書

開催日時 : 平成19年2月28日(水) 午後(13:00~17:00)

開催場所 : SPring-8 中央管理棟 1階講堂

(兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-2 TEL 0791-58-0970)

#### ○2006AB 期の結像型 CT における成果報告

13:00~13:15 ヒト毛髪 of X線 CT 観察

カネボウ化粧品・基盤技術研究所 井上 敬文

13:15~13:30 結像型高分解能 X線 CT を用いたゴム中のフィラー構造の観察

SRI 研究開発株式会社 岸本 浩通

13:30~13:45 スターダスト計画によってもたらされた彗星塵サンプルの初期分析

大阪大学大学院 土山 明, JASRI 上杉 健太郎

13:45~14:00 各種金属材料の組織観察

豊橋技術科学大学 戸田 裕之

14:00~14:15 球状グラファイト、アルミナ系共晶組織の3次元構造観察

大阪大学大学院 安田 秀幸

14:15~14:45 (30分休憩)

#### ○講演

14:45~15:15 結像 CT : 基礎と SPring-8 での現状

JASRI 竹内 晃久

#### ○運営に関する議事

15:15~17:00

#### 報告

第3回 X線マイクロ・ナノトモグラフィー研究会を、SPring-8 の中央管理棟 1階講堂にて行った。上記プログラムのように5件の成果報告および1件の講演が行われた。はじめに、井上氏、岸本氏、上杉氏、戸田氏、安田氏による2006A・B期の結像CTに関する成果報告があった。それぞれの実験の概要、試料、撮像条件の説明と得られた成果の紹介がなされ、さらに撮像上の問題点、課題が議論された。分解能向上に伴い難しくなる試料の設置方法などの意見交換がなされた。次に、JASRI 竹内氏により「結像CT:基礎とSPring-8での現状」と題して、SPring-8における結像CTの発展と基本原理についての講演が行われた。一般のユーザーも分かり易く説明していただき、結像CTの可能性と現在抱える問題について、質疑応答がなされた。講演の終了後、議事および運営に関する事項として、JASRI主催のワークショップの情報、研究会の予算執行状況報告、メーリングリストおよ

びホームページの開設が報告された。2007年度の活動内容、海外研究者を招待してのワークショップ開催について検討を行った。ワークショップの詳細についてはさらにメーリングリストを活用して詰めることとした。最後に、次回、第4回研究会は7月20日～8月頃に開催し、テーマはCTイメージベースのシミュレーションとし、ビームライン担当者のSPring-8からの情報発信と合わせて講演を行うことと決定した。場所は大阪大学にて行うこととした。